

No	⑥	分類	3-(2)-ア	資料名	るすばん	学年	1・2年	領域	道徳	2-(3)
----	---	----	---------	-----	------	----	------	----	----	-------

### 1 ねらい

- 様々な立場にいる友だちの願いに気づくとともに、友だちと仲よくし、助け合おうとする。

### 2 趣旨

- 自分にとっては当たり前での暮らしの時間に、友だちによっては、全く違った暮らしをしている子がいることに気づかせる。
- 前向きな友だちの姿に共感させ、ともに生きていこうとする態度を育てる。

### 3 配慮事項

- 学級内に一人親家庭の児童が在籍していることは十分考えられる。その児童が興味半分に見られたり、疎外されたりすることのないように配慮する。

### 4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 資料を読み、るすばんをするほくの気持ちについて考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ひとりですばんをしているほくは、どんな気持ちでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さびしいなあ。</li> <li>・お母さん、早く帰ってきてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビを見たり、遊んだりしていても落ち着かない気持ちや、お母さんと遅い時間まで会えない寂しさに共感させる。</li> </ul>
<p>2 がんばっておきるほくの気持ちを考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ねむいけど、ほくは、どんな気持ちでおきるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おくれるのがいやだからがんばるぞ。</li> <li>・学校がすきだから休みたくない。</li> <li>・みんなといっしょに勉強したい。</li> </ul>	

### 5 参考

平成 15 (2003) 年度当時、兵庫県内の小学校 2 年生の児童の作品である。部落差別問題の資料として使用することも可能だと思われる。原文は次のようになっている。

ほくは、ときどきやかんほいくにいきます。テレビをみたり、あそんだりしています。九じや十じぐらいまで、おかあさんをまっています。つぎの日、がっこうにいくとき、ねむいことがあります。でも、がんばっておきます。おくれるのがいややからです。がっこうがすきやからです。

かいほうがっきゅうで、ねむくなることもあります。おはなしがながくて、きいているのがしんどくなるからです。そんなときは、かおをあらいます。いっぱいはっぴょうして、げんきになれるようにがんばります。